

7月分要約

一日も早く合併をし、県都にふさわしいまちづくりをしてほしい。(津市)

いつまでも津なら津、久居なら久居と名称を残していけば良い。税金が下がる、医療費が下がるとなれば賛成もできる。(津市)

合併に際して、市に行政の足並みを揃えることだけはしないでいただきたい。小規模な町村だからこそ、住民サイドに立って配慮をいただけることは多いと思う。合併しても行政レベルが下がらないようお願いしたい。(一志町)

新設合併を機に県都の名称を「三重市」にしてほしい。

・メリット・デメリットがよく分かるように市民に説明してほしい。議員、職員が大幅に減らされるので、市民へのサービス低下にならないようにしてほしい。合併した時は「支所を置く」ということが書いてあるが、支所の機能を分かり易くPRしてほしい。(津市)

合併について、どのような形で市民が参加できるのか。市民が誰でも見られるような形で答えてほしい。(津市)

・津市の名称は、どこへ行っても知られており残すべきである。現在の市役所は立地条件がよく存続すべきである。(津市)

・合併して便利になってほしい。中学の時に総合学習で市町村合併について調べていたので、今後たくさんの方が気になるので知りたい。(津市)

・旧市町村議員全員を合併後最長2年間新市の議員として残す選択できるとあるが、財政難時に最初から市民不在である。(津市)

・水道料金はすべて同じであること。(美里村)

・広域行政賛成。(津市)

・太郎生地区住民の90%の人はほとんど名張市に合併するように働きかけている。(美杉村)

・美杉村太郎生地区は、医療、学校すべて名張市と切ってもきれない地区であるので、津合併を反対する。(美杉村)

・美杉村太郎生地区は、すべての日常生活は名張である。(美杉村)

・地方税率、公共料金等について、高値統一にならないこと。新市議員は定数特例はやむ得ないとしても在任特例は反対。今後とも町名は歴史的町名を尊重し、かつての津市のような町名の改変をしないこと。(久居市)

・消防について、合併で津方式にすれば、現在の久居の消防の低下に繋がる。国からの交付税を、消防費は全額消防費に使うべきだ。(久居市)

・消耗品費にお金をかけすぎで、何に使ったのか公表すべきだ。大きなところへ合併させてもらうのだから、小さな市町村はありがたいという気持ちになって望むべきだ。(久居市)

・合併により文化伝統の事業が津市中心に偏ることなく、他市町村の伝統文化が軽視されることのないよう、合併後も従来どおりの活動ができるようように、十分な協議をされたい。(久居市)

・合併は市民にとって何のメリットもありません。税金は上がり、サービスは必ず後退します。(久居市)

・合併して本当に良かったと一人一人が安心できるように。みんなに格差がないように、今まで以上に活力ある新市になってほしい。(河芸町)

・他の県はほとんどが県名が県庁所在地が多い。津、久居、その他合併する市町村は名前を残して欲しいと思うが、三重市が最適かと思う。(久居市)

・合併によって、今各町村、または、社会福祉協議会が行っている福祉サービスが低下しないようにしてほしい。合併してよかったと言われるように福祉の充実に努めて欲しい。(香良洲町)

・固定資産税の算出方法について、土地の評価の割合を小さくして欲しい。(津市)

・市町村によって人権啓発の取り組みに差があるので、推進体制のしっかりした市町村を手本にして、後退しないような組織づくりをお願いします。(久居市)

・合併することにはどちらかという反対。合併が必要なら安芸郡と津市との合併であれば関係が深いので良いと思う。(津市)

・合併協議会では「お便りの紹介」に問題点、心配事など基本的な問題が列記されており、P7の合併協定項目が列記されているが、質問事項を解決して地元で説明すべきである。合併にあたり、現計画と津市・安芸郡・香良洲町・久居市・一志郡メリット、デメリットを表に明記し、公報に記し住民投票をすべきである。(津市)

・河芸町は合併に参加するのだから課長クラスが出席する。太郎生地区は名張と合併すべきである。(一志町)

・新市の名称は「津市」がよい。全国的に知られており、由緒ある地名は残したい。(津市)

・国の事情だけに振り回されて、あまり早急な合併をすべきでない。大きい事が必ずしも良いとは限らず、小さい方が決め細やかな住民サービスができるはずだ。(津市)

・新市になれば大幅な人員減をして、年功序列を廃止すること。(久居市)

・合併協議に対する住民PR、不足感を痛感する。(久居市)

・基本4項目の原案に賛成する。町・字の名称について、原則として変えないようにお願いします。窓口業務について、従来の町役場は、津市河芸区役所として残し、従前どおりの業務を行い、住民サービスが後退しないようにお願いします。(河芸町)

・合併しても何もよいことはない。(河芸町)

・美杉村太郎生地区は地元の要望どおり名張市に合併するのがよい。(一志町)

・合併後は、有料でもかまいませんから、市営バスを他の地域と公平に運行していただきたいと思う。(一志町)

・新市計画には全面的に反対です。合併も意味がありません。(津市)

・各市町村議会議員の削減をすべきである。職員数を削減して、必然的に能力アップと財政的に反映すること。市町村施設の整理、運営の見直しをすること。(久居市)

・合併新市の50年後のあるべき姿を掲げた後、全ての諸問題を解決していくべきである。(久居市)

・全国的には津市が知られ始め、定着しやすいので、津市がよい。思いやりのある市全体が助け合い、ゆるがない良い市として発展してほしい。(久居市)

介護保険料について、現状の人口構成、該当者等、当市と同じ他都市と比較し突出して高いのに、合併することによって料金が更に上がるのか。(津市)

新市の名称、高齢者の福祉事業、介護保険事業の取り扱い。寿バスカードはどうなるのですか。(津市)

市町村合併後の福祉面が、合併前に比べて低下するのではないかと心配である。合併後も少なくとも現在の水準を維持してほしい。(香良洲町)

全市1区の議員選挙では人口の多い中心部の候補者に票が集まり、辺境町村からの地域代表の議員が出なくなる恐れがある。(一志町)

新市の名称について、県庁所在地として、また、三重県の中心都として三重市としたら良い。(久居市)

合併をしなくてもいい。現状のままでよい。(久居市)

合併することで水道代などを少しでも安くしてほしい。(安濃町)

他市町村が津市と合併するのに反対である。(津市)

新市の市名について、三重県県庁所在地として全国でも珍しい1字の市名で国民に知られている津市が良い。(久居市)

合併することによって、地域性のある事業等がカットされる等のないようお願いしたい。(香良洲町)

大きな芝生のある公園がほしい。保育園の託児時間が短く、広域入所の制限があるので解決をしてほしい。(久居市)

新市の名称について、今回の合併が新設(対等)合併であるのであれば、やはり新市には新しい名称が必要だと思う。(久居市)

新市の名称は、津市以外にすべきである。何の事業でも山間部は後回しにされるので、山間部から始める事業が出来るようにしてほしい。(久居市)

少子高齢化に伴い、過疎町村では公共施設が空いてくると思う。福祉施設の新設も結構ですが、近い将来高齢者も減少します。不要になった施設の有効利用を望みます。議員は少数精鋭主義で税金は有効に活用してください。(一志町)

大きい変更には反対意見があるのは当然として時代の要求として合併に進むべきである。(久居市)

市町村の合併は、行政などの効率化等について賛成ですが、市の中央に比べて周辺部は整備が遅れないようにしてほしい。(津市)

久居市の「新市名称」アンケートをするやり方は住民を混乱させ、合併協議会の結束を害すると思う。(久居市)

合併するなら公務員の大幅削減が必要である。遠隔地(美杉村等)が不利にならないようにしてほしい。美杉村太郎生地区は、分村し名張を合併した方が住民のためには便利だと思う。(久居市)

合併に便乗して『はこもの』の要望が多く出されている。建設費は特例債で実質的にカバーされるが、完成後の管理費は新市の持ち出しとなる。その際、地元から強い要望が出されているのであれば、完成後の管理費の2分の1を地元自治会等に負担させるくらいの条件を付け、それに同意した場合のみ建設することにしたなら、要望はかなり減少するものと考えられる。(久居市)

・民意を反映した合併をするべきである。津市への吸収合併は反対である。(久居市)

・市議会議員の資産等の公開。幼小中高の通学区域自由化(拡大)。自治会事業の歩調をそろえる。新市の名称は津市とする。議員のマンネリ化防止。幼小校園長を一般公募する。出先機関の長、教育職の管理職以外の者とする。教頭は市民が選ぶ。(津市)

・議会議員の定数特例と在任特例に反対する。市名は「津」がよいと思うが、市民の声を重視すべきである。(津市)

・職員数の削減を是非進めてほしい。市町村議員定数も是非下げたい。人件費削減(合理化)の面から考慮する必要がある。(河芸町)

・議会議員の定数をまず決め、新市となったらすぐ実施すること。まず一番先にしてもらい歳費の削減をする。各市町村の特別職についても同じように減らし、まず人件費の節減を図ってほしい。教育の面で学校の格差のないよう、全ての子どもに平等に教育をしてほしい。(久居市)

・長い間親しんできて、地名を聞くだけでどこかをすぐ思い出せたものが、しばらくは戸惑うと思う。(久居市)

・津市独自で行われている事務(少人数、基礎学力を重視した教育体制)は合併後も維持できるのか心配です。中学校の給食の問題について、親としては他町村のように、給食があるとバランスも取れてうれしい。(津市)

・合併は避けられないと思うが、合併になって現行のサービスが低下しないように、税等負担が増えないように努力していただきたい。それぞれの町村にも市民に直結した催し物、イベント等、近くで楽しむものを継続されるよう切望します。(久居市)

・合併後、市長選と同時に議員は選挙を執行したほうがよい。その場合は38名の倍の76名を。旧市町村に人口(有権者)によって分配し、選挙をする。4年後に全市にて38名の定員で大選挙区で選挙してはいかがですか。旧市町村で76名を分配して統一地方選挙(4月)で当選した上位から何名かは全議員くし引きで76名選出する。(久居市)

・「お便りのご紹介」があるが、それに対する市側のコメントが一言もないので、合併への理解ができない。合併すれば各種事業が出来て、バラ色みたいな説明ばかりだが、合併しなくても当然取り組むべきものばかりである。(津市)

・新市建設計画策定懇話会の委員名を市町村別に公表されたい。都市部と山間部との生活格差をどのようになくしていくのか。自治会行政を明確にすること。(美杉村)

・市の名称は、中勢市とする。現在、全ての役所への納入金が合併により増加しないこと。役所の窓口が津まで行かなくても、今までどおり久居市内で事足りるようにしてほしい。(久居市)

・自治会での扱いに差がないようにしてほしい。(久居市)

合併基本 4項目については提案どおり賛成です。高齢者保健福祉や介護保険については、各市町村の計画を十分考慮して進めてほしい。福祉サービスは、人対人の関係であり、地域性を十分入れて仕組みを作るようにしてほしい。(香良洲町)

市町村合併にあたって、現在のスポーツの活動状況を出来るだけ維持してほしい。(河芸町)

職員数と議会議員数が減ることにより、適正な淘汰がなされ、質が向上すると期待している。真に能力のある人が新しい市を支えてほしい。(久居市)

新市の事務所は現津市役所にするとのことですが、行政サービスをきめ細かくするためにも、旧市役所、町役場などに支所を置いてほしい。(久居市)

新しい青年の町「三重市」なら日本全国啓蒙せずによく知れ渡ります。このほうが合併市町村も公平で穏便に納得し、理解するでしょう。

今は色々な町のサービスがなされていますが、老人のバスの送迎、区の行事、ボランティア活動、公民館活動等への人的金銭的補助が減らされたり、なくなったりしてしまうのかなど心配している。出来るだけ続けて欲しい。(香良洲町)

各地域の自治会連合会でどんな意見があるのか。10市町村全域の様子が知りたい。(久居市)

県庁所在地でありながら障害者対策(ハード・ソフト両面)が遅れている。やさしいまちづくりを目指してほしい。(香良洲町)

県でも推進していることであるが、「ユニバーサルデザインまちづくり」を啓発推進していただきたい。行政職員の意識格差がないように研修していただきたい。(香良洲町)

新市においては、障害の有無や年齢、国籍などに関わらず、誰もが自由に社会参加できるまちづくり=ユニバーサルデザインのまちづくりを進めていくべきだと思う。(久居市)

義務教育である中学校が給食がないのは困る。食中毒が心配される中、冷房もない学校の中にお弁当を持たせたままであることが不安です。(久居市)